

ぼらんていあ倶楽部

発行：西東京ボランティア・市民活動センター 〒188-0011 西東京市田無町 5-5-12 総合福祉センター
TEL 0424(66)3070 FAX 0424(66)3555
E-mail: nishivac@bz01.plala.or.jp



安心して暮らせる街に向けて、今、スタート

西東京市保健福祉部高齢福祉課 基幹型在宅介護支援センター 横山 桂樹

西東京市の高齢化率は、現在 18.0%となっており、約 5.5 人に 1 人が高齢者という割合になっております。この高齢化率の推移を推計いたしますと、平成 32 年には 24.1%となり、約 4 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者になると予想されています。

このような少子高齢化社会において、西東京市では、以前より高齢者が地域の中で安心して暮らせるよう、仕組み作りを考えていたところでした。ところが、平成 14 年 2 月に痴呆状態の妻が、夫の衰弱死を理解できず、死後約 1 ヶ月の間食事を作る世話を続けていた事故や、同年 9 月に高齢者の姉弟が相次いで病死をしていたが、なかなか発見されなかった痛ましい事故が度重なり、早急に高齢者の孤独死をなくすためのシステムづくりが進められました。

当初、高齢者地域見守りネットワーク事業として検討委員会が設立され、市民や、学識経験者などに、高齢者の安否確認のシステムづくりを検討してもらい、市長に答申、高齢者地域見守りネットワーク検討委員会報告書を提出しました。この間には、住民懇談会が計 6 回、シンポジウムが 1 回開かれました。平成 15 年 12 月より、ささえあいネットワーク協力員・協力団体の募集。翌年 2 月には、社会福祉協議会と高齢福祉課の協賛で第 2 回のシンポジウムを開きました。このシンポジストには、地域住民に日常的に接する機会が多い新聞販売所、タクシー会社、また、団地自治会、老人クラブ連合会から高齢者が地域で孤立しないように住民同士が連携して日常生活を見守ることや、ふれあいのまちづくり住民懇談会の代表からは、高齢者のふれあい昼食会やパトロールなどについて発表されました。

皆様、新聞でご覧になったかも知れませんが、4 月 7 日にこもれび小ホールにおいて、西東京市と郵便局や新聞販売所、タクシー会社など 44 団体と協定締結の調印式が行われました。協力団体については、日頃の業務の中で異変に気づいた場合、民生委員や在宅介護支援センターや市に連絡をしてもらいます。また協力員については、1 月から 3 月までささえあいネットワーク登録説明会を開催し、約 180 名の方が登録、協力員証を携帯して活動に入っております。まずは、地域にお住まいの高齢者の把握から始まり、挨拶を交わすなど地域を知ってもらい、高齢者との関わりづくりから進めていきたいと思っております。また、初めてこのボランティア活動を行う人のために、専門の講師を招いての研修会や、民生委員さんとの懇話会を在宅介護支援センターを中心に開催していきたいと考えております。今後、この活動が活発になり、市内全域網の目状態に進められれば、西東京市においては、高齢者の孤独死が無くなり、住民全員が、本当に安心して暮らせる街になっていけると考えております。この機会に是非「ささえあいネットワーク」にご賛同をいただき、皆様の登録もお待ちしております。どうぞ、よろしくお願いたします！



ファーストステップ講座



隣近所とお付き合いをすることがなかったために、痛ましい事故が起きてもなかなか発見されなかったというケースを耳にします。「高齢者事情、西東京市の場合」とスタートしたばかりの高齢化社会への取り組みを基幹型在宅介護支援センターの横山桂樹氏からお話していただきます。

日時：5月15日(土)13:30~15:00

場所：西東京ボランティア・市民活動センター

ファミリーサポートセンターは、仕事や家庭の都合で育児の支援が必要な方にサポート会員をご紹介し、会員宅でお子さんを預かる地域の支えあい事業です。少子化、子どもを取り巻く環境から「現代の子育て事情」をファミリーサポートセンター職員の藤井由利さんに語っていただきます。

日時：6月19日(土)13:30~15:00

場所：西東京ボランティア・市民活動センター

動物達の幸せを願う会

私達の会では動物愛護の精神に基づき、人と猫が共生できる環境づくりをめざしております。それには、

1. これ以上ノラ猫を増やさないため、生後6ヵ月を過ぎたメスの避妊からオスの去勢へと順次手術をいたします。手術済みの印として、耳にビーズのピアスをします。
2. 決まった場所での餌やり、回収、掃除をいたします。活動開始以来、以上を心がけて毎晩餌やりを続けております。それにより、私達に対する猫たちの警戒感を薄れさせ、捕獲がしやすくなるのです。当地域では赤ひげ動物病院のご協力をいただいております。時間はかかりますが、地域の皆様にご理解いただきたく心よりお願い申し上げます。ボランティアも募集中です。

久世アキ子：西東京市下保谷4-16-28

TEL 0424-21-4179



文字を音にすること 松井陽子

私は西東京市図書館のハンディキャップサービスのひとつの音訳の作業に関わっています。音訳は、文字で書かれたものを音に出して読むことで、文学作品だけでなく、市の広報、家電製品の使用説明書、教科書、旅行案内などを読むこともあります。この作業の中で大事なことは、正確に読むこと。文字を誤読しないことはもちろん、書き手の意図が正確に伝わるように、と心がけています。これがなかなか難しいのです。

たとえば、「欠陥商品を使用して家事をした結果火事になったとき、出火した製品の出荷から10年たつと、製造物責任法による損害賠償請求は...」。これを音だけで聞くと、家事と火事、出火と出荷が区別しにくくなります。こんなときは、字の説明を織り込みながら読みます。複雑な文章では、主語と述語の関係や形容詞の修飾関係が紛らわしくならないように、ずいぶん気を使います。

苦勞するのは、図や記号。グラフやイラストの説明をすることもありますが、著作権者の権利を侵すことなく聞き手に親切な説明というのは、至難の業。利用者のご希望によっては、医学用語、法律用語、コンピューター用語、古典文学、趣味の雑誌など多彩なものを読むことになるので、辞書類は欠かせません。自分の知識のなさを嘆きつつ、文芸作品の情緒の表現もままならず、落ち込むこともしばしばですが、大勢の先輩や仲間助けられて活動しています。

第4回ボランティアのつどいに向けて・・・ 実行委員募集！

去る3月13日(土)、第3回ボランティアのつどいが行われました。視覚障がい者の誘導、歩行困難者の介助、手話、朗読を約90の方が体験した一日でした。これをきっかけにボランティア活動への第一歩となり、また経験者は初心に戻ることができ、明日からの活動の糧となりました。

2004年度のボランティアのつどい開催に向けて実行委員会を発足させます。実行委員としてつどいの企画、実施、運営に携わっていただける方を募集しています。我々と思う方は西東京ボランティア・市民活動センターまでご連絡ください。TEL 0424-66-3070

=== 第1回実行委員会は ===

日時：6月5日(土)午後1時30分～3時30分

場所：西東京ボランティア・市民活動センター活動室

内容：第4回ボランティアのつどいの企画

都庁展望室でお買い物

こんにちは、ゆずりは作業所です。ゆずりは作業所では作業のひとつとして皮製品の製作をしています。種類はサイフや、しおり、ペンケース、めがねケース、キーホルダーなどなど。このたび東京都庁の展望室がリニューアルオープンしました。幸いにも東京都セルプセンターの計らいもあって売店で製品の一部を売ることができるようになりました。みなさん、都庁へお出かけの際は45階まで足をのばして展望室にぜひよってみてください。

また、レザー製品販売は富士町のゆずりは作業所でも常時おこなっています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。担当：小林、高木

心身障害者通所授産所 ゆずりは作業所

西東京市富士町6-5-7

TEL 0424-62-1093 (FAX 兼)



ボランティア保険Q & A

平成16年度ボランティア保険の加入手続きはお済みですか？補償期間は毎年4月1日から翌年3月31日までです。中途加入の場合、手続き完了の翌日から補償期間となりますので、活動前には安心チェックをお忘れなく。

Q ボランティア活動中に、ボランティアの眼鏡が滑り落ちて壊れてしまった場合、ボランティア保険で補償してもらえるのでしょうか。

A ボランティア自身が所有する物が壊れても、ボランティア保険の補償の対象ではありません。ボランティア活動中に、他人の眼鏡を誤って壊してしまった場合は、賠償責任保険で補償されます。しかし、自分の所有物を壊してしまった場合は、賠償責任が生じないので補償の対象外です。

女と男の今と未来の応援団 特定非営利活動法人 生活企画ジェフリー

「男女共同参画社会基本法」成立を機に、地方自治体では条例やプランづくりが活発に行われています。しかし、私たちの生活の奥深くに根付いた慣習や概念の多くはまだまだ旧態依然の部分が多く、窮屈さを感じることもしばしばです。そこで、生活企画ジェフリーでは、ささやかな小さな見直しを皆様と一緒に進めます。身近な地域社会は男女共同参画の最前線なのです。差別のない偏見のないだれにもやさしいまちをつくるために、なんによの家で「レッツ！しゃべり場」開催や、男女平等を切り口に情報誌を発行、男女の人権に関わるさまざまなプロジェクトに取り組みます。一歩ずつ変えましょう、一緒に。

〒188-0012 西東京市南町4-13-26 TEL0424-67-2089 FAX0424-67-2096

～無菌室より～「今後どうなるのかわからない」



これは誰でも思うことですよ。だから甘えは許されないと思っています。
はじめまして長島陽介と申します。まず「お前誰？」と思う方が多いと思うので簡単に自己紹介を。私はこの春に大学卒業したばかりの23歳男性、無職です。2002年12月（大学3年時）に骨髄移植が必要な可能性のある骨髄異形成症候群という診断を受け、経過観察をしながら、大学に通いつつ、骨髄バンク等のボランティアをしていました。以前に西東京ボランティア・市民活動センターでお話させてもらったことがあり、文章を書くことになりました。で、今年3月に治療方針も決まり、ベッドが空くのを待っていました。

無菌室で、この文章を書いています。今日は入院初日で、骨髄の検査や心電図、レントゲンを取ったりしているだけなので、まだ元気です。骨髄移植ではなく「免疫抑制療法」という治療をするのですが、これも無菌室に入る必要があるくらいの副作用はあるきつい治療です。ひと月くらい入院して治療をし、半年間くらい経過を見ていく予定です。

今は特別不安なことはありません。が、今後どうなるかはわかりません。治療をはじめて半年、一年と月日がたつにつれてどうなるかはその時になってみないとわかりません。順調に良くなっていくとも限らないです。でもそれは誰でも思うことで、病人だけに甘えが許されるものではないと思っています。ここでいう甘えというものは、自分が経済的に独立、つまり就職し、その先まで通じるものだと思っています。

今回は半分自己紹介で終わってしまいましたが、次回は実際の治療中や無菌室について思うことを書こうと思っています。私について何かあればメールください。また私たちがやっている活動のHPがあるのでそちらもチェックしてみてください。では今日はこのへんで

長島陽介 yosuke_project@hotmail.com

ようすけプロジェクト ～骨髄バンクを支える学生・市民のネットワーク～ <http://yosukeproject.fc2web.com/>

財団法人太陽生命ひまわり厚生財団 社会福祉助成

助成対象：非営利の民間団体等

助成事業：1.在宅高齢者等の福祉に関する事業

2.民間ボランティアグループ

3.障害者の福祉に関し啓発し、開発し、または普及深化させる事業

4.障害者に対する授産施設または小規模作業所を整備する事業

5.老人保健、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究・調査

応募締切：平成16年6月末日必着

(申込書の請求は6月20日まで)

問合せ先：財団法人太陽生命ひまわり厚生財団事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-11-2

太陽生命ビル内 TEL・FAX 03(3272)6268



“傾聴ボランティアきずな”活動2年目

傾聴ボランティアが活動していることをご存知ですか。

私達は、西東京ボランティア・市民活動センター主催の「傾聴ボランティア養成講座」を平成14年度・15年度に修了した40余名で構成しているグループです。

傾聴とは、こころでお話を聴くことです。私達はみんな、一生懸命、その勉強をしてまいりました。ですから、どなたにもこころを傾けて、相手の立場に立ちながら、じっくりお話を聴かせていただきます。

傾聴の基本は、ひたすら聴くことに徹し、共感することです。反論や反発はいたしません。話した方の気が楽になり、心が安らぐのは、そのためでしょう。聴き手の私達も傾聴することで、話し手とともに、これまで体験できなかった新しい人生に巡り合い、生きる喜びを感じるのです。

私達は、こころでこころを聴く仲間です。安心して、お話を聴かせてください。施設にいらっしゃる方・在宅の方、どなたでも気軽に、お申込みください。お待ちしております。

お問い合わせ先：代表 石井須美子 TEL 0424-24-6828

市内の学校へ“アイマスク体験”を通して

「今日は」の元気な挨拶から、さあ、アイマスク体験の始まり！ 白川正子

歩くときの注意から始まる。平地誘導は「前」「後ろ」「左」「右」をはっきり伝え、「あっち」や「こっち」を指差しても視覚障害者には見えないので、わからないと伝える。

階段やエスカレーターは“上り”なのか“下り”なのか。見える人は無意識に行動するが、「上りですよ」との声かけをして、今の状況が変化する時には必ず一時停止、相手の足元を確認し、歩き始める。『安全に目的地へ』と『相手を信頼する』の最低条件を説明。

生徒は毎日歩き慣れた校内をそれこそ目をつぶっていても歩けるくらい知りつくしているのに、誘導する側はスイスイ歩くがアイマスクをつける側は途端に足がすくんで及び腰になり、歩くというより引っ張られている状態の生徒もいる。アイマスクを交代すると普通の歩みで誘導すると思いきや、怖い体験が相手を思い、ゆっくりと誘導している。(そうそう、その調子。エライゾ頑張れ) 始まる前の説明をきちんと頭に入れているのを実感する。うれしい一瞬でもある。

視覚障害者の単独歩行は歩き慣れたところは平気ですが、人と待ち合わせたり、不慣れなところは不安になり「すみません、お願いします」と自ら声かけがあるかもしれません。そんな時、臆せず肩か腕に軽く触れ、「お手伝いします」と声を出してください。また、逆に親切のつもりですぐ声かけをしまいがちですが、少し様子を見守って、困っている様子であったら声をかけ、腕を貸してあげてください。“大きなお世話”になりませんように...

気負わずに「安全と安心」を。さりげなくお手伝いをする。障害(私自身も障害者です)に関係なく、「お互い様」と「相手の気持ちを考える」を心してゆきたいと思っています。孫のような年齢の生徒に励まされて。

今日は、西東京市子ども家庭支援センター「のどか」です。 宮村 陽子

子ども家庭支援センター「のどか」は、平成 15 年 7 月に立ち上がった、子どもと子育て家庭を支援する新しい施設です。

人は誰でも「幸せに楽しく、自由で、平和に生きたい」という願いを持っています。子ども家庭支援センターは、一人ひとりかけがえのない大切な存在であることを踏まえ、人と出会い、つながり、支えあう子育て支援をしたいと思っています。昨今、核家族等により生活環境が大きく変化し、親も子もストレスを抱える時代です。子育てに不安感や孤独感を抱きましたら、どうぞお気軽に、お電話又はご来所ください。新しい出会いや体験があると思います。相談室の隣にはピッコロハウスがあり、屋根のある公園として、自由にご利用いただいています。ここには毎日 50 組近くの親子さん(0 歳~3 歳まで)が遊びにきており、親同士の交流や子ども同士の遊びの場になっています。

「話してみたら、なーんだ、皆同じようなことで悩んでいたんだ」と、自分だけではないという安心感と気持ちのゆとりがもてたり、また、先輩ママからの貴重なアドバイスを戴いたりします。時には「子どもがかわいくない」、「学校や幼稚園で人間関係がうまくいかない」などちょっとり深刻な悩みもあります。そんな時には専門家のアドバイスを受けたり、子どもを預けてリフレッシュ講座や子育て講座の受講などもあります。子育て支援を考える時、いろんな場面でボランティアの皆様力は欠かせません。

人は人とのふれあいの中で育ち合うもの、子ども家庭支援センター「のどか」が地域の中で、親も子も共に育ち合える「居場所」になれたらいいな~と思っています。

相談電話 0424 - 51 - 0808 (火曜日から土曜日 9 時~16 時) 西東京市田無町 3 - 7 - 2 コール田無 3 階



ボランティア募集

【西東京市高齢者センターきらら】

利用者と一緒に手芸やゲーム(囲碁、将棋、麻雀、トランプ)などの趣味活動、お話を楽しくてくださる方。一芸ある方も大歓迎です。性別・年齢問いません。

西東京市富士町 1 - 7 - 69 TEL0424 - 51 - 1200
ボランティア係 中溝 谷口 岩元

【信愛病院】

患者様の身の回りのお世話や病棟内での作業 移動図書貸し出し 土曜日のコンサートの手伝い 病棟前花壇の手入れ
清瀬市梅園 2 - 5 - 9 TEL0424 - 91 - 3211
ボランティア・コーディネーター 坂井

市民活動団体・NPO 講座(実践コース)

受講者募集 *** 予告 ***

日時: 6月29日(火)・30日(水)
午後6時30分~9時
会場: 田無総合福祉センター視聴覚室
(田無町5-5-12)
内容: 組織の目的、目標設定力をつけよう
~ねらいを絞り込む
会議力をつけよう~グループで決める
対象: ボランティアグループ、NPO 法人、市民活動団体でスタッフとして活動している方
定員: 30名(先着順) 6月1日より受付
参加費: 4,000円(2日間)
申込み: 西東京ボランティア・市民活動センター
TEL 0424 - 66 - 3070 FAX 0424 - 66 - 3555

【老人保健施設 ハートフル田無】

内容: レクリエーション活動、シーツ交換等
場所: 西東京市向台町 2 - 16 - 22
申込み: 0424 - 68 - 5166 担当 佐々木 真澤

【中野区立かみさぎこぶし園】

重度の障害のある方の宿泊旅行に同行して、食事・排泄入浴・移動などの介助をして下さる方(ボランティア 25名)
日程: 7月14日(水)~16日(金)
行き先: 軽井沢少年自然の家(長野県北佐久郡軽井沢町)

【学校ボランティア】【水泳ボランティア】

活動先: 西東京市内小学校
上記のお問い合わせは
西東京ボランティア・市民活動センター 0424 - 66 - 3070

バザーの品物提供のお願い

ほうや福祉作業所(知的障害者の通所施設)では、地域ふれあいバザーを開催します。ご家庭で使っていない台所用品、衣類、雑貨、おもちゃ、古本、CD等がございましたらご協力をお願いします。(台所用品・衣類は新品に限ります)
受付期間: 5月17日~6月4日(土日は除く)
バザー: 6月12日(土)11時~14時30分 雨天決行
場所: 西東京市ひばりが丘3-1-23 中原出張所隣
問い合わせ: 0424 - 61 - 9816 担当 小野

ヨロシク!

西東京ボランティア・市民活動センター職員です



丸木



片寄



今林



岡崎

似顔絵: 住田道男氏(老人福祉センター講師)

*ぼらんていあ倶楽部は市内の次の施設、機関でも入手できます。ご利用ください。

西東京ボランティア・市民活動センター 西東京市社会福祉協議会 市役所 郵便局 公民館 図書館 地区会館
老人福祉センター 福祉会館 消費者センター こもればホール ふれあいセンター スポーツセンター
ファミリーマート(中町店) スポーツクラブプライズ